

# コロナ禍における教育現場の実情

## 概要

私たち大谷ゼミ24期では、「コロナ禍における教育現場の実情」をテーマに現役高校教師二名をゲストスピーカーとして呼び、開講した。

日時：2021年12月7日 午後3時10分から

場所：関西学院大学 E号館 302

参加者：大谷先生、ゼミ23・24期生

## ゲストスピーカーの紹介

多久島 亮さん（大谷ゼミ2期生）  
関西大学中部部・高等部 社会科教員  
現在高校三年生の担任を務める。

関西大学中学・高等部

村上 諒太さん（大谷ゼミ10期生）  
洛南高等学校・洛南高等学校附属中学  
社会科教員  
入学センターに所属する。

洛南高等学校・洛南高等学校附属中学

## 2月 一斉休校

先ず初めに、コロナウイルスは2020年の2月ごろから感染についてのニュースが増え、全国で知られることになった。感染が拡大したことにより、2月28日から安倍首相による「一斉休校」が開始される。一斉休校が発表されたのは2月28日（金）だったが、休校になるのは3日後である3月2日であった。そのため、どちらの学校も急遽職員会議が行われ、定期テストやこれからの方針について決めた。

関西大学中部部・高等部（以下関大）は、系列校に進学するために、成績をきちんと取る必要がある。そのため生徒のことを考え、学年末試験は開催した。

## 3月 ゴールデンウィークまで

初等部からiPad・Macを入学と同時に購入。  
→感染が拡大する前から生徒と学校のインターネット環境が整っていたため、3月10日が、オンライン授業が開始される。この頃、環境が整っていたとはいえ週に三日（15時間）で、7時間分の授業を録画！慣れないオンライン授業というものを模索しながらの日々となった。生徒とのコミュニケーションを取るものが難しく、GWまでという終わりが見えてはいたものの、生徒、先生ともに苦しい期間となった。また、先生を2グループに分断して出勤していた、この時に会議がなかなか開催できず、教員同士での情報共有ができなかった。

## 6月 登校してからの学校生活

関大では、YouTubeとzoomで授業を行った。  
苦勞した点（YouTubeの録画）  
日中の自宅周りの騒音（子供声や、犬など）  
→夜中2時から録画することになったため、日中はzoom、夜間はYouTubeと過酷な日々を過ごすことになった。  
また、2020年度の学校行事についてはほとんど中止となったが、感染がおさまっていた文化祭だけは開くことができた。2021年度もなかなか開くことが難しいようだが、最も大変であったのが修学旅行についてである。まず、宿泊先の受け入れである。旅行では、他の学校との宿泊先やバスの取り合いがあり、人数の多い学校はより難しくなる。そうした後に、保護者、生徒、教員が納得する形で、開催の有無を決議し報告しなくてはならないことが大変だそう。元々、中学三年生はカナダ、高校三年生は、ハワイだったものを、岡山旅行と、スキー旅行にそれぞれ変更した

## 入試

入試説明会も時間ごとで区切り、必ず消毒時間（20分）が設けられた。  
高校入試では、2020年度はどちらの学校も大阪府のガイドラインに沿う形で出題し、2021年度は、特に指導もなかったため例年通りに戻した。  
2020年も2021年も追試の期間を設けた。なお実際に実施されることはなかった。  
また、大学受験に関しては、生徒の進路状況が例年と変化することはなかった。

洛南高等学校・洛南高等学校附属中学（以下洛南）では、一斉休校の通り学年末試験は中止した。

洛南では、そもそもインターネット環境が整っているわけではなかったため、新学期は、学校や教員を紹介したプリントを郵送し、生徒に少しでも学校に触れてもらおうとした。またGWには、生徒のデバイス調査を全員に行い、一人当たり3万円を補助する形で、インターネット環境を家庭で整えてもらうようにした。それまでに、授業も配信はしたが、見ることができない生徒もいるかもしれないということ、対面で復習を行うということが前提だったそう。学校で力を入れたことは、生徒とのコミュニケーションを取ることで、電話面談をし、生徒の声を聞いたそう。また、教員は三グループに分かれて出勤し、web会議を行い、全体像の相談をしていた。

洛南高校では、生徒の学校行事を重んじる傾向にある。そのため、体育祭は開くことができなかったものの、文化祭や修学旅行は行う方向性で決まった。最も気をつけたことは、検温や消毒が大変だったそう。旅行先では、ホテル側から、検温と消毒をするように言われ、ないところは持参という形で、そういった備品の準備も行なったそう。それだけでなく、バスは、席にゆとりを持って行うため、お金やバスの手配に苦勞した。

## コロナの捉え方

コロナだからこそ気づけたこともある。

・一見大変なのは、学生である私たちだけだと思っていたが、大人たちも同じように腕いて、うまくいくように工夫しているということがわかった。

・これまで変えてこなかったことをもう一度見直して、やるべきことの整理ができたこと

・人と繋がりがや、思いやりを持って人に接するということの大切さを学んだ。